

『MFCA簡易計算ツールの 使用マニュアル 1, 2 の使い分け方』

本マニュアルは、平成20年度の経済産業省委託事業「マテリアルフローコスト会計開発・普及事業」の中で、本事業を受託した株式会社日本能率協会コンサルティングが、その事業の中で開発した“MFCA簡易計算ツール”の使用方法のマニュアルとして、制作したものである。

1. MFCA簡易計算ツール、および、本マニュアルは自由に使用できます。
2. 本マニュアルの利用により発生した損害に対する責任は負いません。
3. 本マニュアルを複製して販売することを禁止します。

なお、通常のシンプルなプロセスの場合における“MFCA簡易計算ツール”の適用方法は、「マニュアル(1):シンプルなプロセスへの適用版」を参照して下さい。

平成 2 1 年 3 月

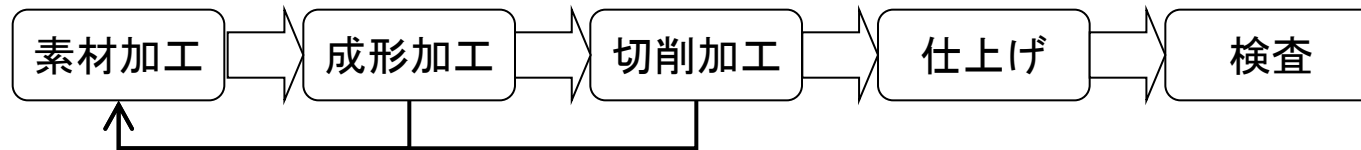
日本能率協会コンサルティング

MFCA簡易計算ツールの整合化の使い分け(1)

2008年度版のMFCA簡易計算ツールでは、MFCA計算における物量センター、QCの物量原単位の整合化について、「1) 自動整合化」、「2) 手動によるカスタマイズ、整合化」の2つの方法を用意している。

1) 自動整合化: sheet「整合化-b」を使用

シンプルなプロセスの場合、工程間の物量原単位を自動的に整合化できるsheet「整合化-b」を使用する。この場合、工程内リサイクルがあっても、自動的に整合化したMFCA計算結果が得られる。



この場合は、次の手順で、MFCA計算モデルを構築するだけで、MFCA計算結果が得られる。

- ①sheet「MC整理表」、sheet「SCEC」で、MFCA計算のためのデータを定義する
- ②sheet「MB check」で、物量センター単位の材料のマテリアルバランスをチェックし、定義ミスを確認する
- ③sheet「整合化-b」で、MFCA計算を行う単位とする(最終工程の正の製品の物量値)物量値を定義する
- ④sheet「MFCM-b」で、「投入コストー正負の製品コストの差異(チェック用)」の数値にゼロ以外になっていないかをチェックする

なお、この場合のツールの活用方法は、「マニュアル1:シンプルなプロセスへの適用版」を参照して下さい。

MFCA簡易計算ツールの整合化の使い分け(2)

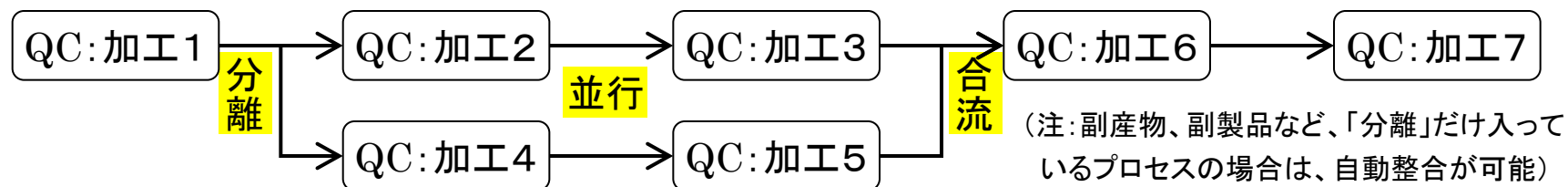
2) 手動によるカスタマイズ、整合化:sheet「整合化-c」を使用

下記のような複雑なプロセスの場合、工程間の物量原単位を自動で整合化できない。

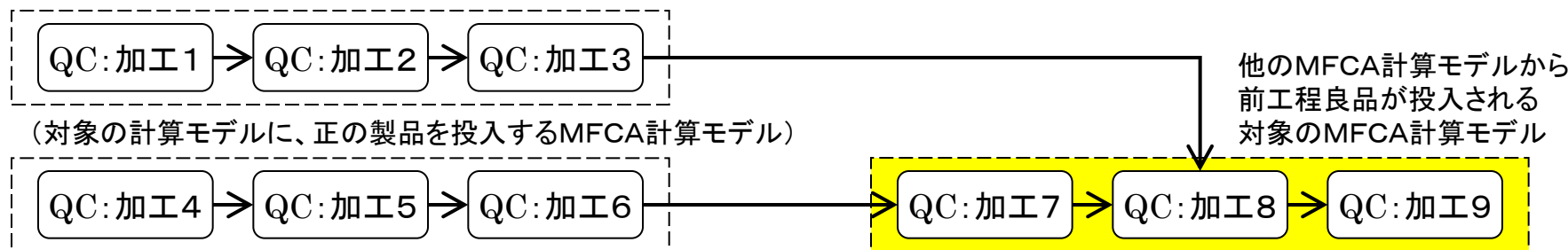
そのため、sheet「整合化-c」を使用して、手動で工程間の物量値を整合化するカスタマイズを行う。

この場合のツールの活用方法は、「マニュアル2:複雑なプロセスへの適用版」を参照して下さい。

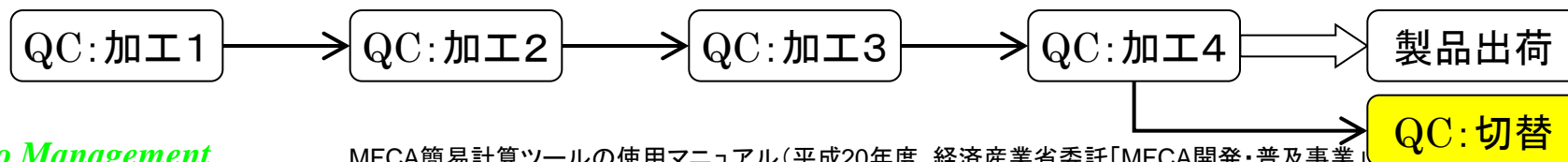
a) 「分離」「並行」「合流」のあるプロセスのMFCA計算モデル



b) 他のMFCA計算モデルの正の製品を、前工程良品として投入するプロセスのMFCA計算モデル 上流側は自動整合化が可能、下流側は自動整合が不可能なので、手動カスタマイズが必要



c) 切替工程を物量センターのひとつとして定義したプロセスのMFCA計算モデル



本事業の事務局は、下記の通りです。

株式会社日本能率協会コンサルティング

MFCA事業事務局

(下垣彰、e-mail: akira_shimogaki@jmac.co.jp)

(山田朗、e-mail: akira_yamada@jmac.co.jp)

(増田さやか、e-mail: sayaka_masuda@jmac.co.jp)

〒105－8534

東京都港区虎ノ門四丁目3番1号 城山トラストタワー35階

[TEL]03－3434－7332 [FAX]03－3434－6430